



青パト”まもるくん”の防犯ニュース

和歌山市危機管理部 地域安全課

ゲートボール冬季大会で防犯啓発

和歌山市老人クラブ連合会の協力を得て、和歌山西警察署と啓発！

平成26年度全国地域安全運動（10月11日～10月20日）の一環として、11月18日に紀ノ川河川敷で開催されたゲートボール大会において、和歌山西警察署と防犯啓発を実施しました。

今回の啓発は、和歌山市老人クラブ連合会の協力を得て、同会主催で開催されたゲートボール冬季大会に集まった皆さんを対象に、最近の犯罪発生状況について、最近の具体的な事例を用いながら説明を行い、その防犯対策について、一人ひとりに丁寧に説明を行いました。

また、今回は防犯啓発と同時に、交通安全に関する啓発も行いました。



早朝から集まった選手の皆さん一人ひとりに、具体的な事例を示しながら説明



和歌山市内の犯罪情勢（平成26年1月～10月末）

和歌山市内における10月末までの刑法犯認知件数は、3,338件と前年同月比で340件減少しています。

この内、和歌山市内で最も多発しているのは「自転車盗」で、754件（前年同月比△5件）となっています。次いで「器物損壊」の502件（前年同月比△21件）、「万引き」の357件（前年同月比△33件）、「車上ねらい」の200件（前年同月比△64件）となっています。

特に、「自転車盗」や「車上ねらい」は、「施錠無し」で被害に遭っている割合が高く、「少しの時間だから…」と油断せず、必ずカギを掛けましょう。 ※数値は全て暫定値。